

BGM放送モード選択ユニット

品番 WU-R35

工事説明書

このたびは、パナソニックBGM放送モード選択ユニットをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。

- この説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと大切に保存し、必要なときお読みください。
- 保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。
- この説明書は、主となる装置の説明書と共に大切に保管してください。

保証書別添付

上手に使って上手に節電

目次

安全上のご注意	2
設置上のご願い	2
BGM放送モードについて	2
■概要	2
■動作原理	3
システム構成	4
■BGM放送モード時に必要なユニット	4
■リモコン構成の考え方	5
スピーカ回線保護ヒューズの交換	7
電力増幅ユニットからの入力系統の分けかた	8
接続のしかた	9
■後面コネクタの接続のしかた	9
■スピーカ出力端子の接続	10
■リモコンマイクとの接続	10
■接続例 1	12
■接続例 2	14
定格・付属品	裏表紙
■定格	裏表紙
■付属品	裏表紙
保証とアフターサービス	裏表紙



安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

(下記は、絵表示の一例です。)



このような絵表示は、してはいけない「禁止」の内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

警告

工事は販売店に 依頼する



工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。

- 必ず販売店に依頼してください。

分解しない、 改造しない



火災や感電の原因となります。

分解禁止

- 修理や点検は販売店にご連絡ください。

不安定な場所に 置かない



落下などでけがの原因となります。

禁止

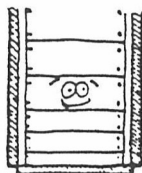
設置上のお願い

本機をご使用の際は

スピーカ選択ユニット、電力増幅ユニット、端子盤ユニットが必要になりますが、システムの構成により異なりますので、ラック形音響装置の説明書を参照するなど、システムの概要、仕様を十分ご理解いただき、今一度ご確認のうえ設置してください。

必ずラックに組み込んでください。

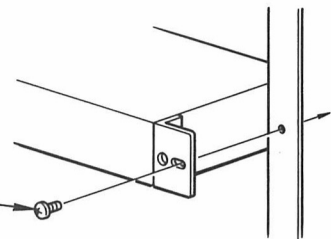
- 本ユニットは、ラックマウント専用です。



ラックマウント時のご注意

ラックマウント時には必ず付属のリブ付ねじをご使用ください。

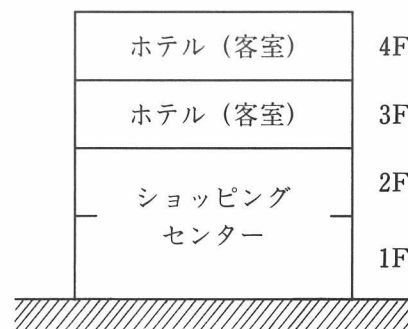
ラック取付用
リブ付ねじ
(M5×12)



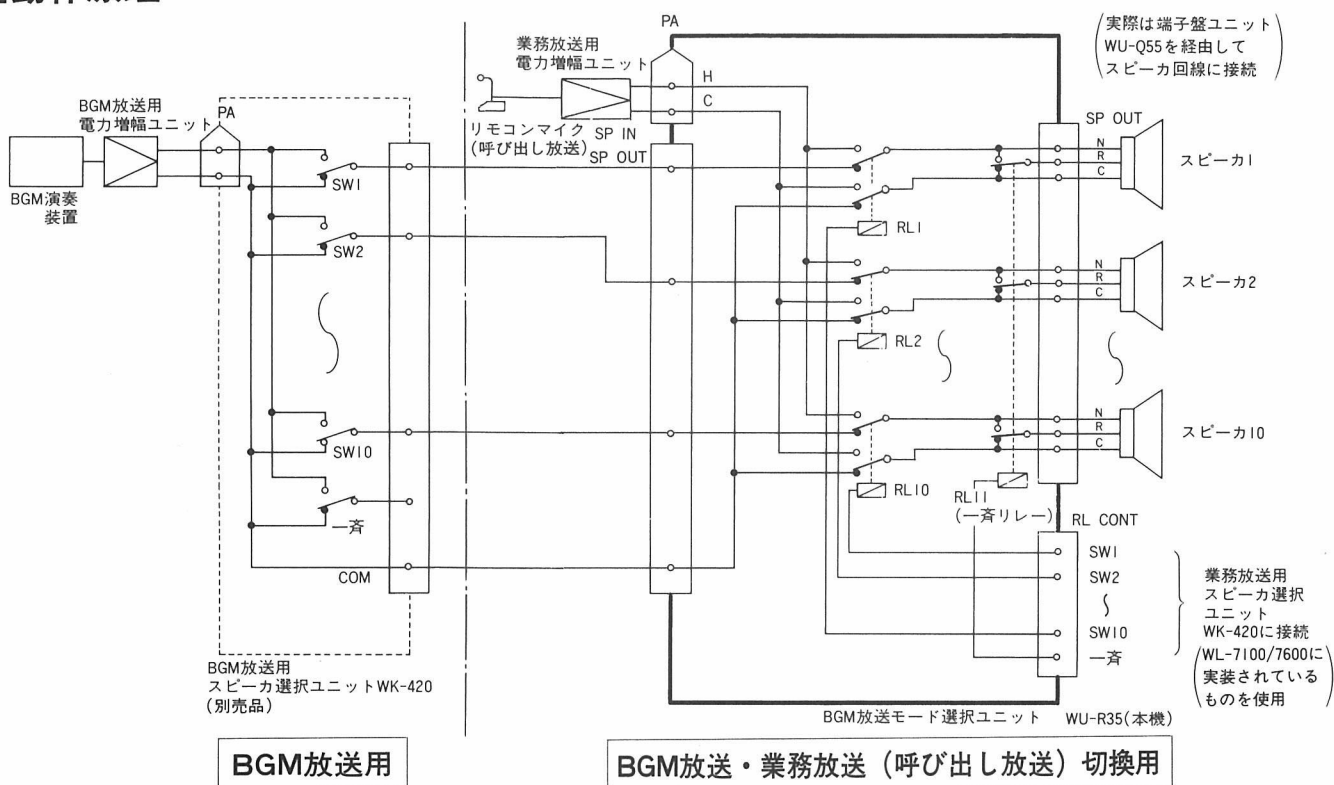
BGM放送モードについて

■概要

- 右図のような建物では、1～2階には案内・呼び出しなどの業務放送を、3～4階にはBGMを同時に流すことができます。(各階をいくつかの系統に分ければ、それぞれの放送系統ごとに同様の放送ができます。)
- 1～2階に業務放送を流さないときには、BGMを流すことができ、他の階のBGMを止めずに3階のみに業務放送(呼び出しなど)を行うことができます。
- 本機を使用するときは、BGM演奏装置のほかにもBGM放送専用の電力増幅ユニット、スピーカ選択ユニット、電源制御ユニット、端子盤ユニットなどが必要です。



■動作原理



- 上記のブロックダイアグラムは、ラック形音響装置とスピーカ選択ユニットWK-420、BGM放送専用電力増幅ユニットを組み合わせ、音声の系統を表したものです。
実際の動作には、BGM演奏装置、電源制御ユニットなどが必要です。
- BGM放送用スピーカ選択ユニットWK-420のスイッチ(SW1、SW2など)を入れるとBGM放送用電力増幅ユニットからの出力がスピーカ1、スピーカ2に流れます。
- この時、本機に接続されている、業務放送用スピーカ選択ユニットWK-420のスピーカ選択スイッチ(SW1)を入れることによって、本機のRL1が「ON」になり、業務放送用電力増幅ユニットからの出力がスピーカ1に流れます。
- 業務放送用スピーカ選択ユニットWK-420のスピーカ選択スイッチSW2を入れない限り、本機のRL2が「ON」にならないため、スピーカ2はBGM放送用電力増幅ユニットの出力が流れます。

BGM放送モードの制約条件

- BGM放送部では、緊急一斉放送(ボリュームコントローラが「OFF」でも放送できる一斉放送)ができません。
- BGM放送より業務放送が優先して放送されます。
- BGM放送用のBGM演奏装置、BGM放送専用電力増幅ユニット、電源制御ユニットなどが必要になります。
- BGM放送モードは、10回線単位で行うため番号がとんでいるスピーカ回線はまとめることができません。

システム構成

■BGM放送モード時に必要なユニット

BGM放送モードを行う時は、BGM放送モード選択ユニットWU-R35の他に、必要となるユニットがありますが、台数などはシステム構成により異なりますので、以下の内容により確認してください。

- スピーカ選択ユニットWK-420が1台必要になります。
(WL-7100/7600に組み込まれているWK-420の他にもう1台必要です)
- 増設用スピーカ選択ユニットWK-430は、BGM放送を流すスピーカ回線数により10回線増設するごとに1台必要です。
- BGM放送を流すスピーカ回線の番号が業務放送側のスピーカでとびとびになっているとまとめることができませんので、あらかじめBGM放送モードを行うスピーカ回線は業務放送側で10回線(ユニット)ごとにまとめてください。
(例)BGM放送と業務放送を切り換えるスピーカ回線(BGM放送モード)の回線番号がSP1, SP2, SP11となった場合はWU-R35は2台必要になります。
- BGM演奏装置、BGM放送専用の電力増幅ユニット、端子盤ユニットWU-Q55が必要です。
- BGM放送側で、スピーカ1回線当たり50Wを越える場合は、リモコンリレーユニットWU-R31が必要となります。
- BGM放送モード時の電源制御ユニットWU-L60Aの必要台数はシステムの回線数、局数および電力増幅ユニットの出力W数により決定します。

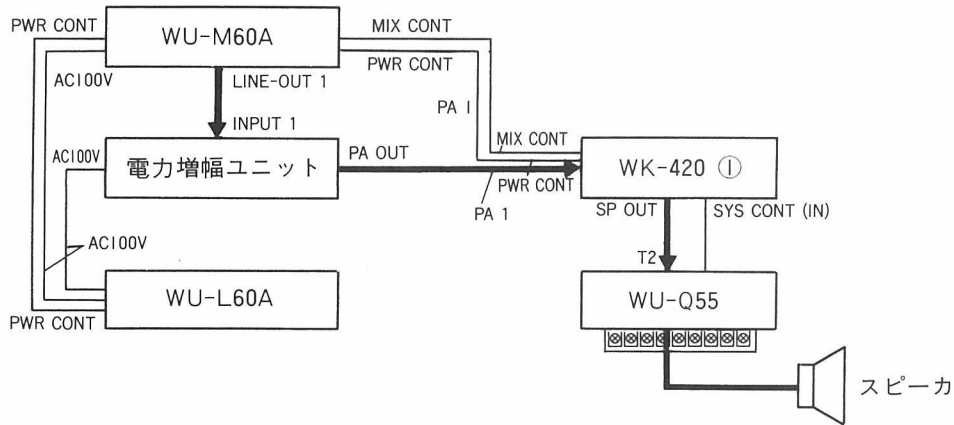
		スピーカ選択ユニットWK-420, 430(増設用)の合計台数	
		1 ~ 10	11 ~ 20
リモコンリレーユニット WU-R31, BGM放送モード 選択ユニット WU-R35の合計台数	1 ┆ 8	増設なし	
	9 ┆ 16		

上記の表を満足していても、電力増幅ユニットなどのAC機器を追加した場合、AC100Vの消費電流が28Aを越えるごとに1台電源制御ユニットWU-L60Aを増設してください。

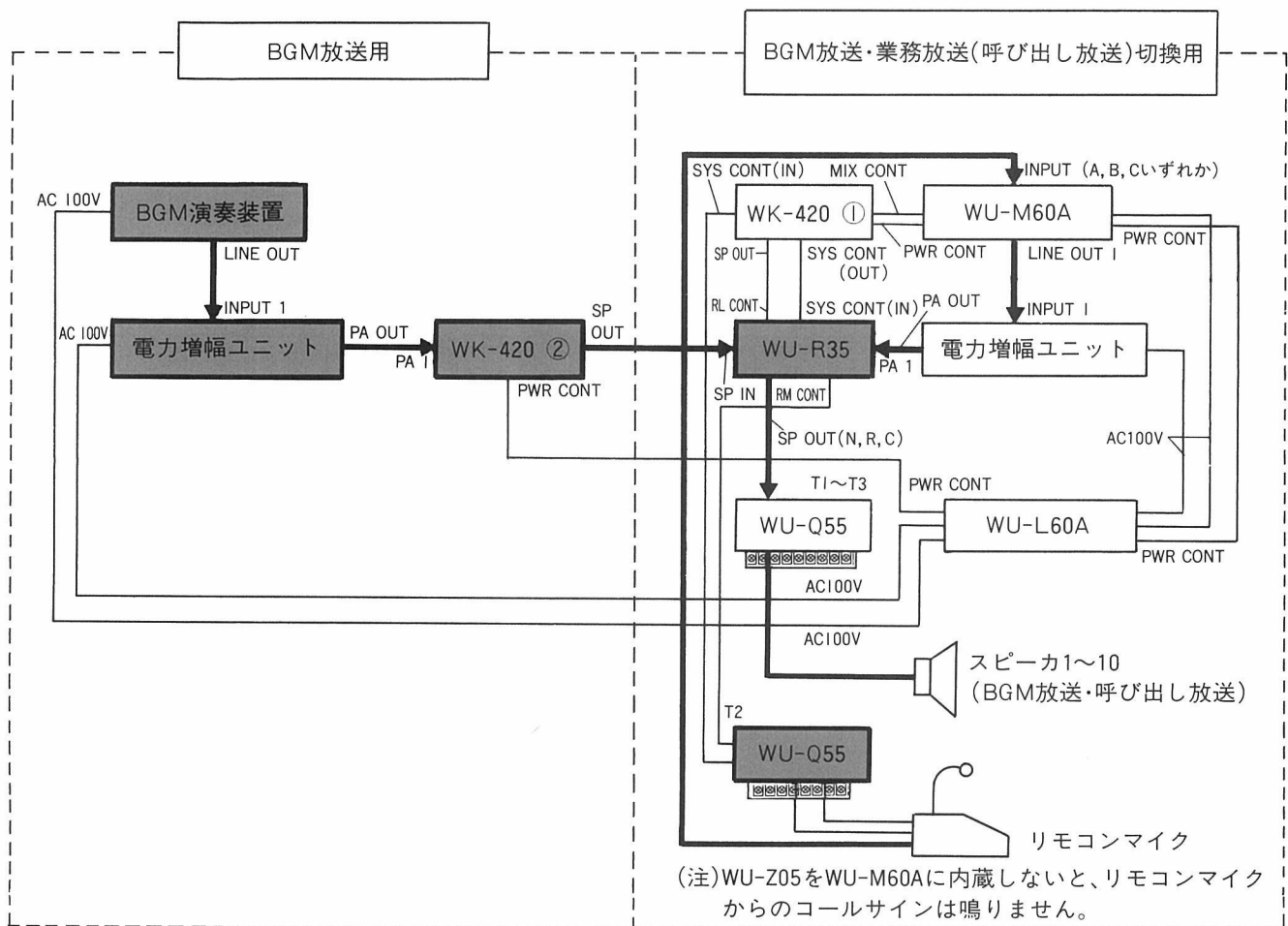
- スピーカ選択ユニットWK-420/430(増設用)の内部設定
本機を使用する場合は、スピーカ選択ユニットWK-420/430(増設用)の内部設定が必要となります。ラック形音響装置WL-7100/7600、スピーカ選択ユニットWK-420/430(増設用)の説明書をご参照のうえ、設定を行ってください。

■システム構成の考え方

- リモコンリレーユニットWU-R31を使用しないシステム
(BGM放送を行うスピーカ回線の1回線あたりのW数が50W以下のとき)
- BGM放送モードを行わないときのシステム
(ラック形音響装置WL-7100、WL-7600に電力増幅ユニットを追加)



- BGM放送モード(10局)を行うときのシステム
(上記システムでBGM放送モードを行うとき)



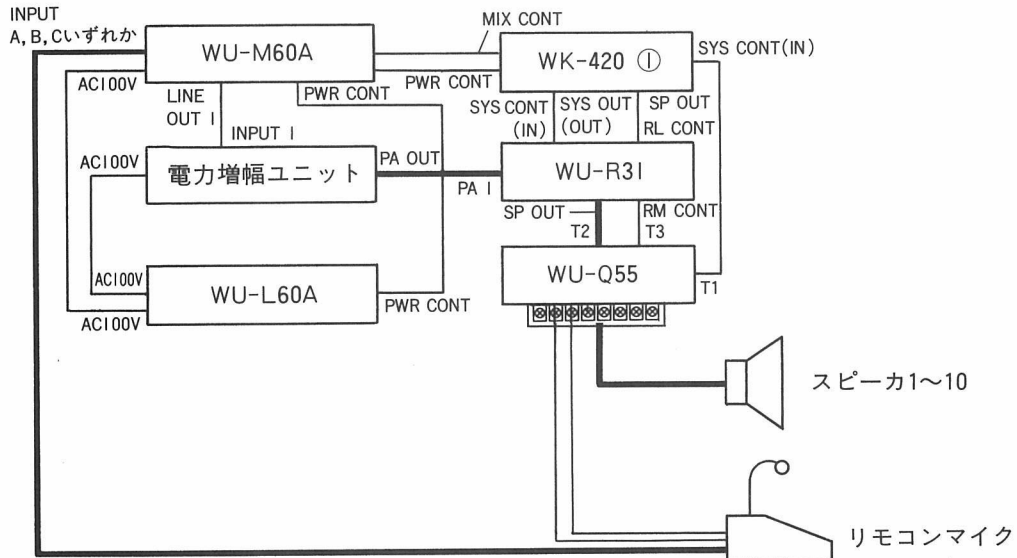
■ がBGM放送モードを行うために追加が必要なユニットです。

— 制御信号・電源
→ 音声信号

システム構成

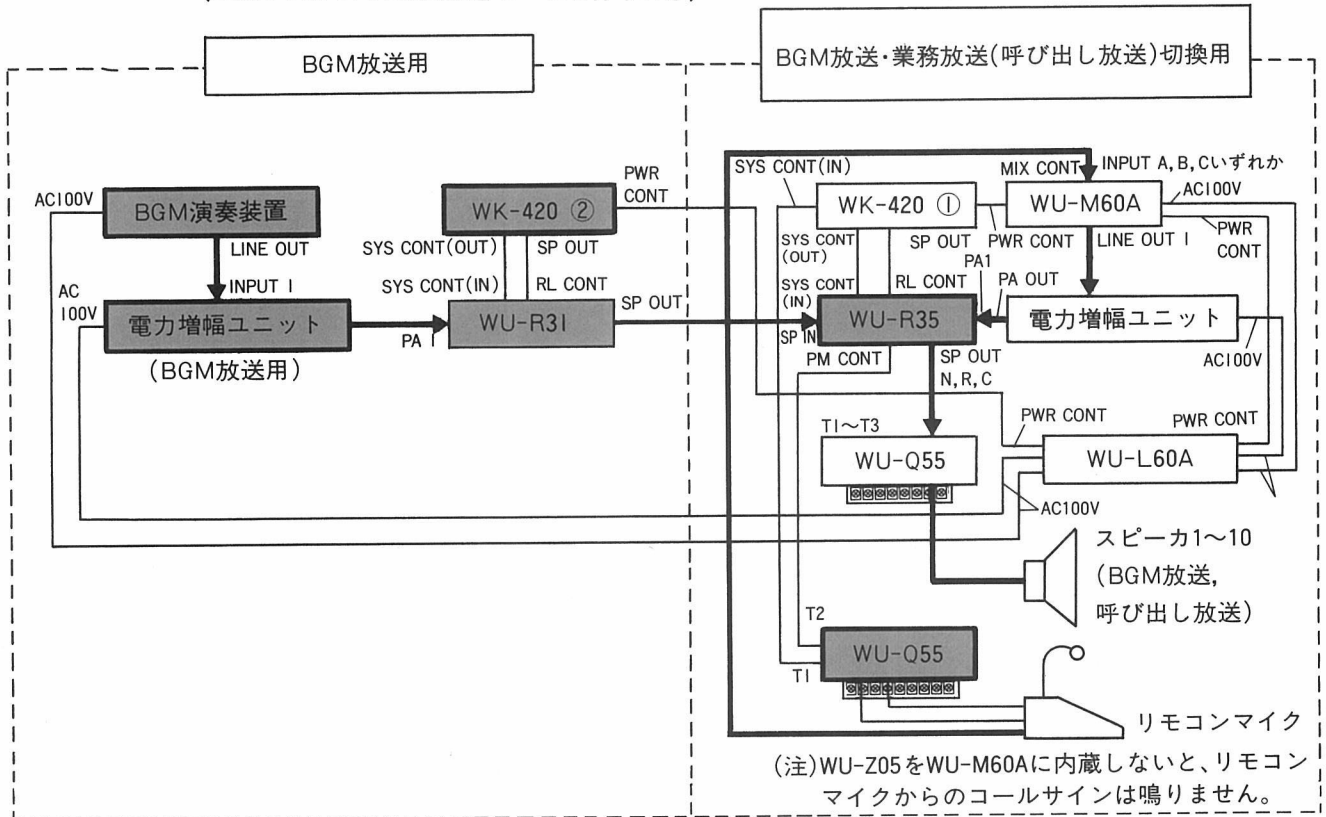
●リモコンリレーユニットWU-R31を使用するシステム

●BGM放送モードがない場合のシステム



(注)WU-Z05をWU-M60Aに内蔵しないと、リモコンマイクからのコールサインは鳴りません。

●BGM放送モードを追加した場合のシステム (上記システムでBGM放送モードを行うとき)



(注)WU-Z05をWU-M60Aに内蔵しないと、リモコンマイクからのコールサインは鳴りません。

■ がBGM放送モードを行うために必要なユニットです。

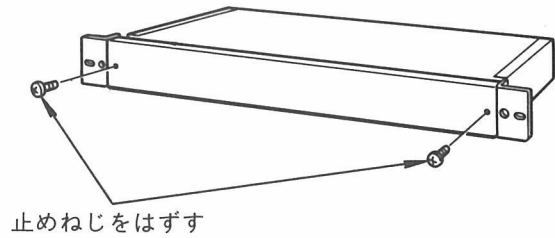
ご注意

- 呼び出し放送などを行うリモコンマイクはBGM放送モード選択ユニットWU-R35に接続します。
- 業務放送(呼び出し)用の電力増幅ユニットのPA OUTはWU-R35のPA1,2に接続します。

スピーカ回線保護ヒューズの交換

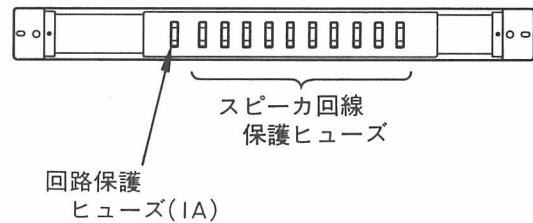
使用するスピーカ回線が1回線あたり23Wを越える場合は、下記の通りヒューズを交換してください。
(出荷時は、315mAが装着済みです。)

①前面パネルの止めねじをはずして、前面パネルをはずします。



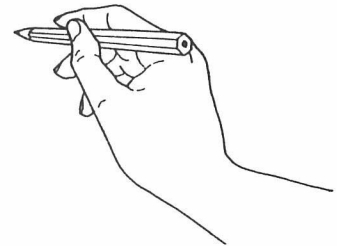
②必要な容量のヒューズ(別売品)に交換します。

品番	1回線あたりの最大許容出力
WK-F03A(315mA)	23W
WK-F05A(500mA)	35W
WK-F10A(1A)	70W
WK-F20A(2A)	140W
WK-F30A(3A)	200W
[50本入]	(切れたヒューズは再生できません)



③付属のスピーカ回線名称表示ラベルに、スピーカ回線名、W数、ヒューズ容量を記入して、前面パネルの内側に貼ります。

SP No	回線名	最大許容出力	ヒューズ容量	SP No	回線名	最大許容出力	ヒューズ容量	SP No	回線名	最大許容出力	ヒューズ容量
1	w	A		3	w	A		5	w	A	
2	w	A		4	w	A		6	w	A	
								7	w	A	
								8	w	A	
								9	w	A	
								10	w	A	



④前面パネルを元通りに取り付けます。

ご注意

スピーカ回線短絡表示機能はありません。

電力増幅ユニットからの入力系統の分けかた

電力増幅ユニット入力は、本機の内部で並列に接続されています。
 次のような場合は、基板上のジャンパ線を切断してください。

ご注意

1 回線当りの容量に応じてスピーカ
 回線保護ヒューズを交換する必要があります。
 7 ページ参照。

● 接続可能台数を越えてしまうとき

並列接続可能な台数

電力増幅ユニット	増設可能な台数	最大合計出力数
WU-P51、P52の 組み合わせ	4 台	480W
WU-P53を含む 組み合わせ	3 台	1,080W

● 電力増幅ユニット入力ごとに、異なる音声を入力するとき

● ジャンパ線切断のしかた

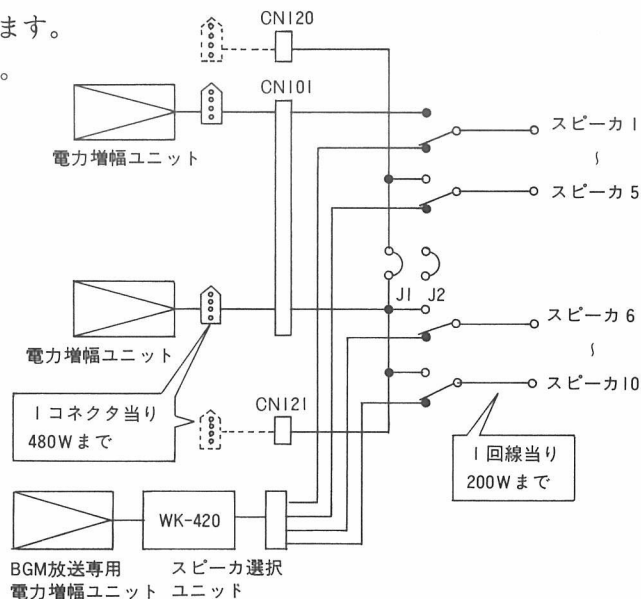
① 上カバーの取付ねじ 2 本をはずして、上カ
 バーを取りはずします。

② 基板上的ジャンパ J1、J2 をニッパなどで
 切断します。

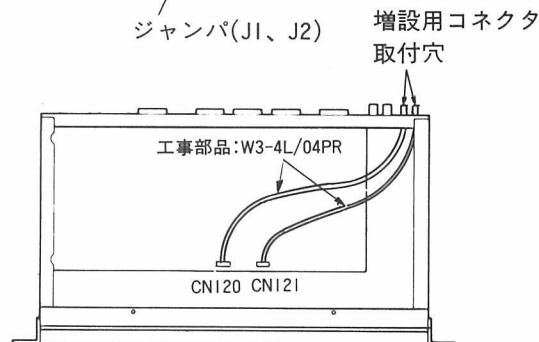
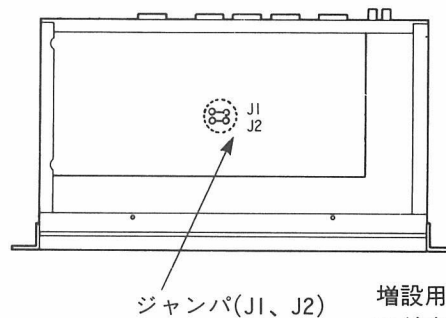
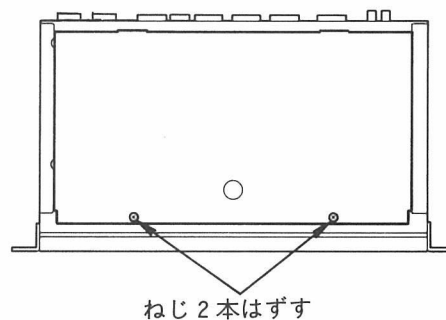
③ 上カバーを元通りに取り付けます。

● PA入力を増設するとき

工事部品 W3-4L/04PR を追加することにより、
 PA入力を 4 入力にすることができます。



※ 点線部は、工事部品 W3-4L/04PR (別売品) を
 追加し、電力増幅ユニット入力を 4 入力とした
 場合

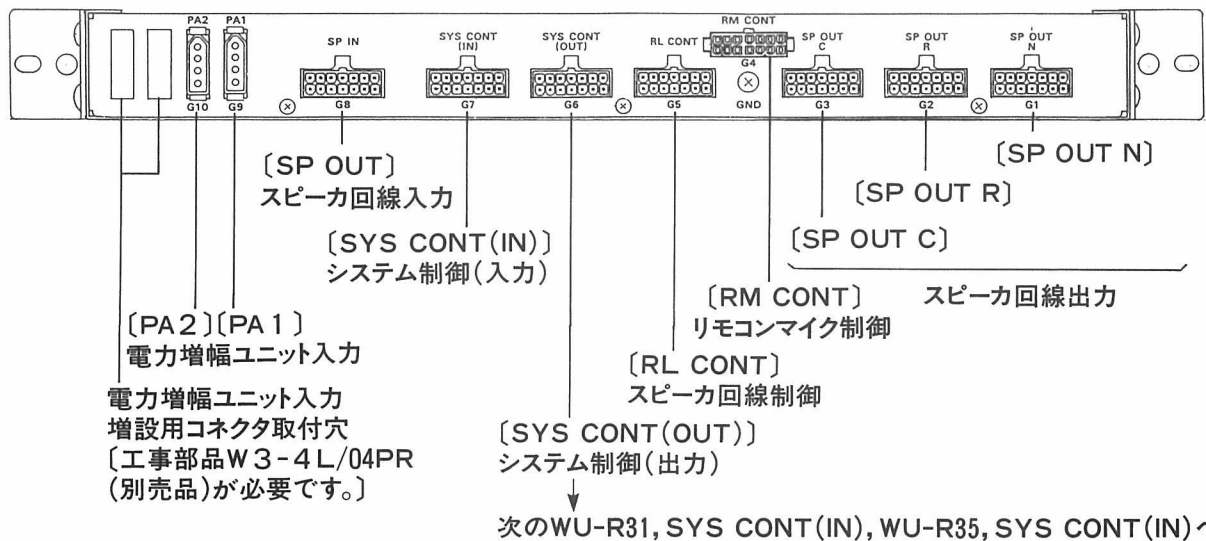


ご注意

- PA入力は 1 コネクタ当たり 480W までです。電力増幅並列運転時には合計出力 W 数が 480W 以下となるようにしてください。
- 追加する PA 入力は PA1、PA2 と並列に接続され、切り離すことはできません。

接続のしかた

■後面コネクタの接続のしかた



端子名		接続先			接続ケーブル	
記号	名称	品番	記号	内容	ケーブル長	芯数
G1	SP OUT N	WU-Q55	T1～T4のうち空き端子へ		2.1m	14芯(14P-16P)
G2	SP OUT R					
G3	SP OUT C					
G4	RM CONT					
G5	RL CONT	WK-420	S1	RL CONT	2.1m	14芯(14P-14P)
		WK-430	2S1			
G6	SYS CONT (OUT)	WU-R31(増設)	L4	SYS CONT(IN)	2.1m	14芯(14P-14P)
		WU-R35(増設)	G7			
G7	SYS CONT (IN)	WK-420	S2	SYS CONT(OUT)	2.1m	14芯(14P-14P)
		WK-430	2S2			
		WU-R31(増設)	L3			
		WU-R35(増設)	G6			
G8	SP IN	WK-420	S1	SP OUT	2.1m	14芯(14P-14P)
		WK-430	2S1			
		WU-R31	L5			
G9	PA1	WU-P51など	A1	PA OUT	2.1m	14芯(14P-14P)WU-P51などに付属
		WU-R31	L6	PA2	1m	2芯 WK-430に付属
		WU-R35	G10			
G10	PA2	WU-P51など	A1	PA OUT	2.1m	14芯(14P-14P)WU-P51などに付属
		WU-R31	L5	PA1	1m	2芯 WK-430に付属
		WU-R35	G9			

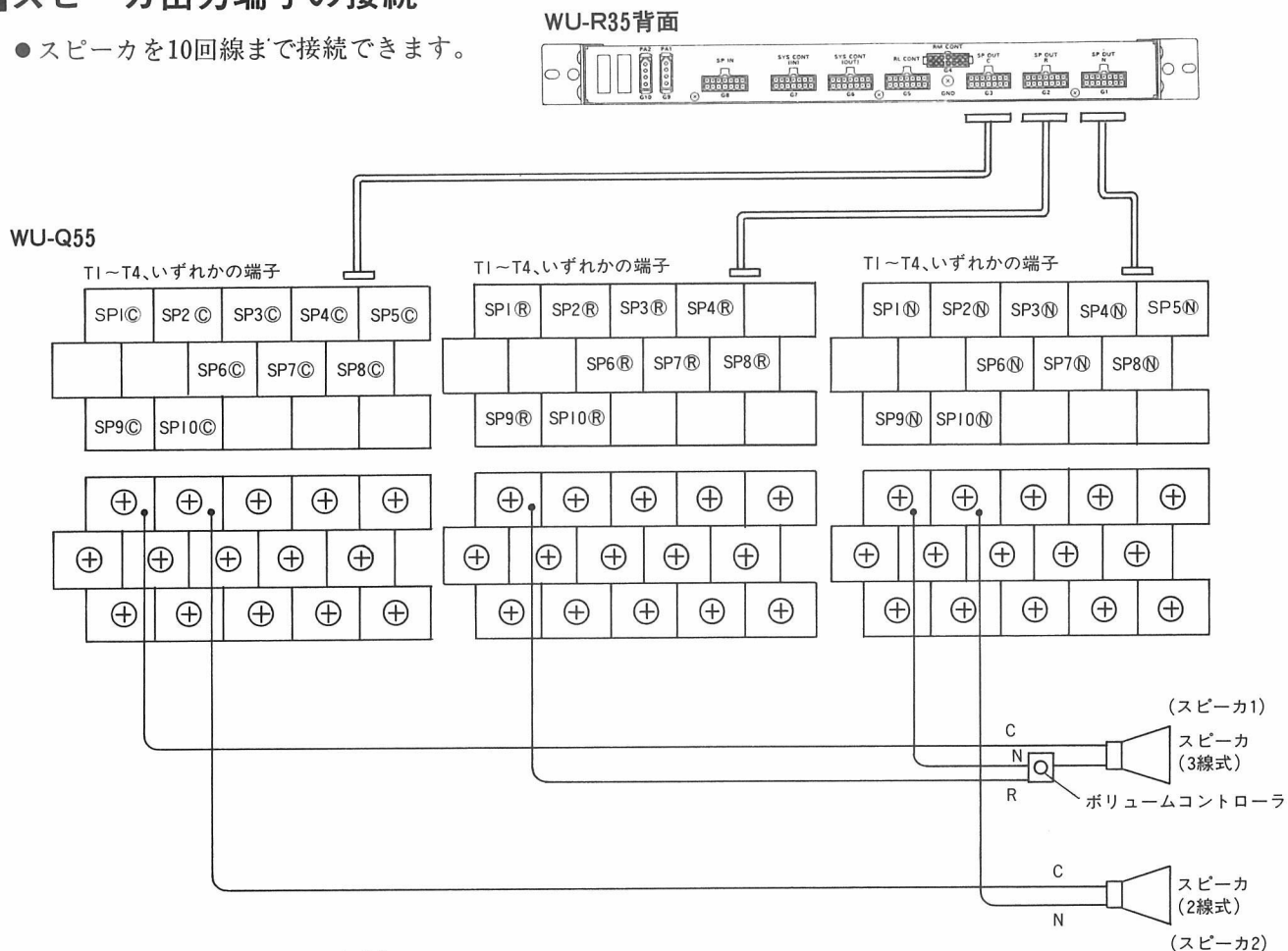
- 本機には、以下の接続ケーブルが付属されています。
 - 2.1m 14芯(14P-14P)ケーブル……………2本
 - 2.1m 14芯(14P-16P)ケーブル……………1本
- サービス点検を容易にするため、ケーブルには必ず付属のケーブル表示ラベルにコネクタ名を書き、巻きつけてください。

本機を複数台使用するときには、ケーブルの本数をご確認のうえ、不足の場合は別途、工事部品を手配してください。

接続のしかた

■スピーカ出力端子の接続

- スピーカを10回線まで接続できます。



■リモコンマイクとの接続

●優先順位と接続方法

リモコンマイクの優先順位は、端子盤ユニットWU-Q55 (別売品)の接続により設定します。

リモコンマイクの放送制御、OV, C COM を優先順位に応じて以下のように接続してください。

優先順位	第1位	第2位	第3位	第4位
放送制御	P1 CONT	P2 CONT	P3 CONT	P4 CONT
OV, C COM	P1 COM(OV)	P2 COM	P3 COM	P4 COM

- リモコンマイクWR-105、WR-110を接続する場合は、端子盤ユニットWU-Q55を増設してください。

●配線について

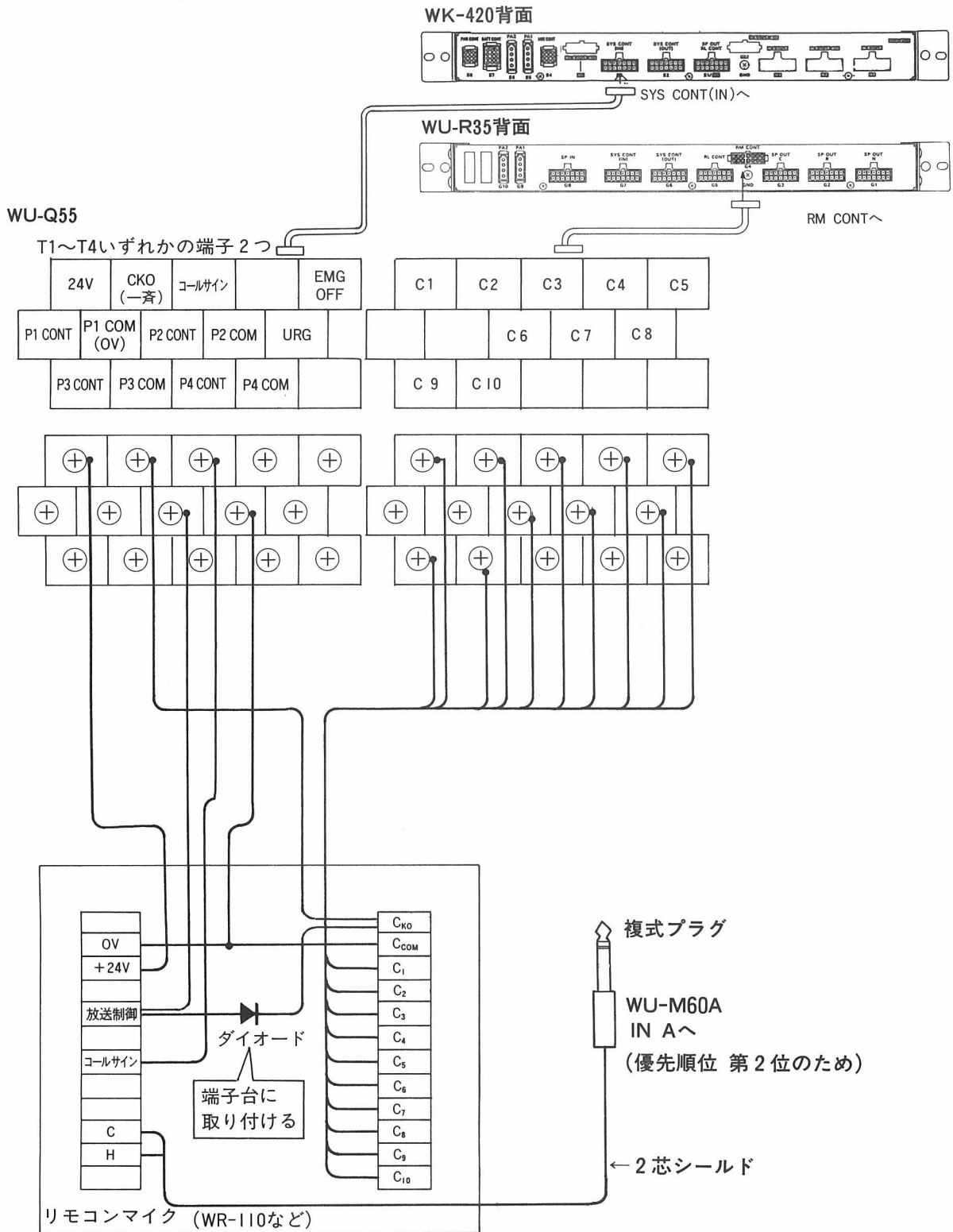
右表のものをご使用ください。

線種	距離	200m以下	500m以下	1,000m以下
シールド線		0.26mm以上	0.35mm以上	0.5mm以上
COM線(1本のみ)		1.8mm以上相当	2.6mm以上相当	3.5mm以上相当
その他の線	5、10局	0.65mm以上	1.0mm以上	1.4mm以上相当
	単局	0.8mm以上	1.2mm以上	1.6mm以上相当

ご注意

- WR-101を一斉放送用として使用する場合、優先順位は1位に固定されますが、ある特定の回線のみで使用する場合は、2～4位までの設定となります。
ただし、ダイオードマトリクスボードWU-Z50 (別売品)が必要となります。その場合には、外部制御の要領で接続してください。
- WR-105、110は、優先順位を1位に設定することはできません。(第1位は一斉のみのため)
- 2台以上のリモコンマイク間で優先順位を変えることはできません。

●優先順位を2位にした場合の接続例



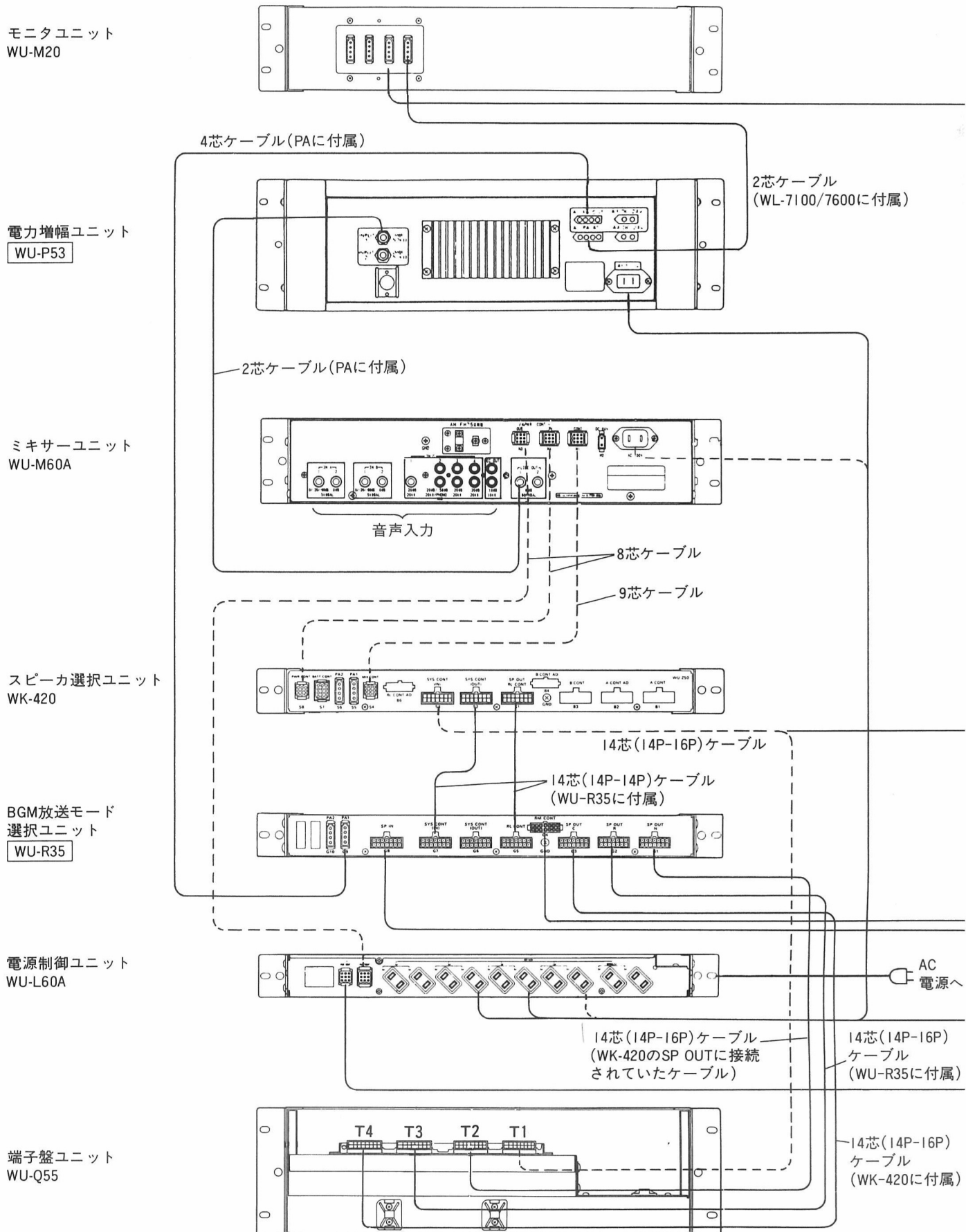
ご注意

ダイオードは一斉放送の優先順位を決定するうえで必要になります。
 ダイオードは本機に付属のものをご使用ください。(92年6月以降生産分(SER No.260001以降)のリモコンマイクには取り付けられています)

接続のしかた

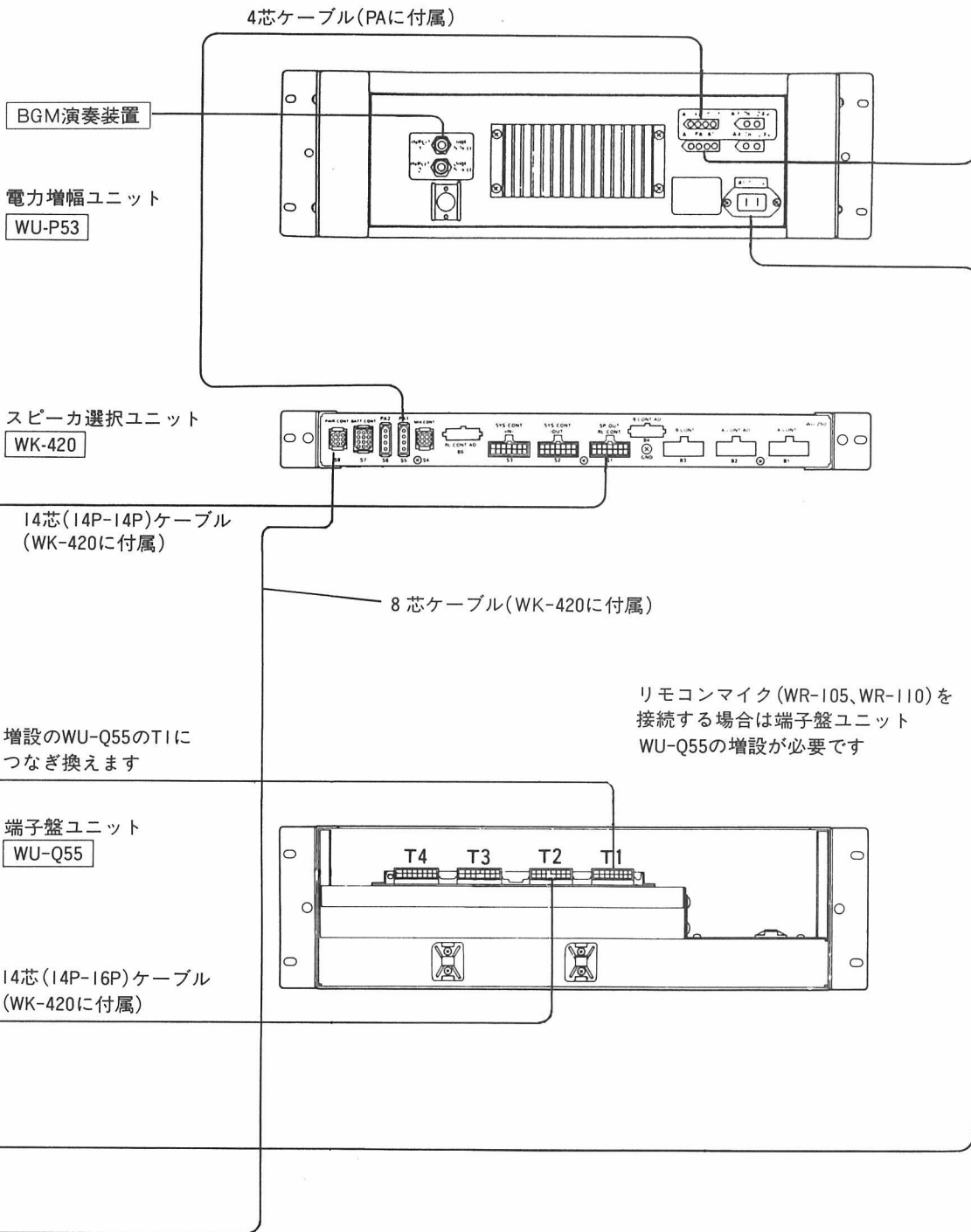
■接続例 1 (WL-7100/7600に本機を追加した場合)

- 1回線あたり50W以下の場合



- ---点線は配線済みのケーブル(出荷時)
- —実線は内部配線をしなければならないケーブル
- □のユニットは別売品です。
- 電力増幅ユニットは必要なW数によって変わります。

2芯4Pケーブル(別売)
YW6100SR01(サービス部品扱い)



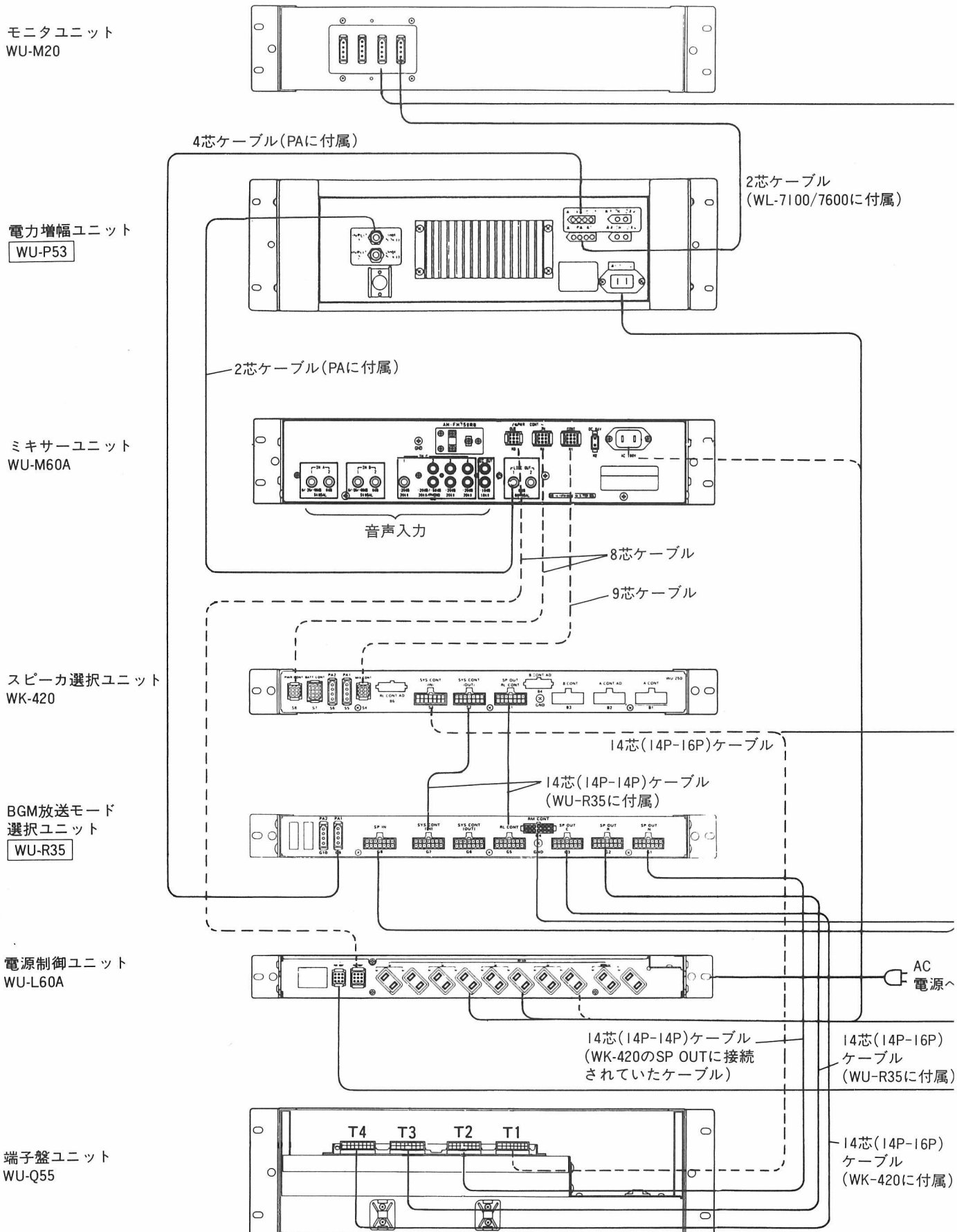
リモコンマイク(WR-105,WR-110)を
接続する場合は端子盤ユニット
WU-Q55の増設が必要です

※14芯ケーブルには2種類あります。

- WU-Q55へ接続するケーブル→14P-16Pケーブル
- それ以外のケーブル→14P-14Pケーブル

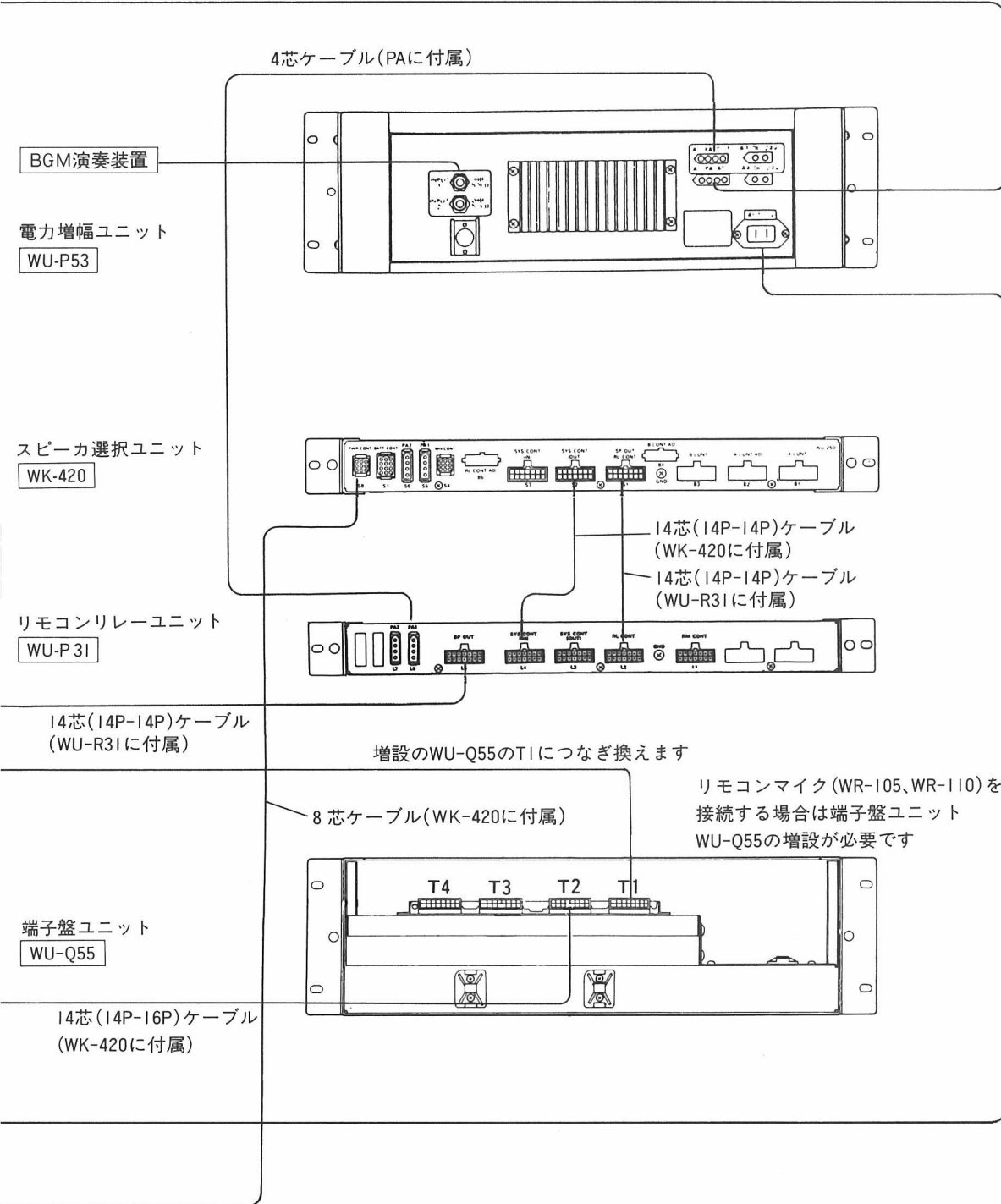
■ 接続例 2 (WL-7100/7600に本機を追加した場合)

- 1回線あたり50Wを越える場合



- …点線は配線済みのケーブル(出荷時)
- 実線は内部配線をしなければならないケーブル
- のユニットは別売品です。
- 電力増幅ユニットは必要なW数によって変わります。

2芯4Pケーブル(別売)
YWL6100SP01(サービス部品扱い)



- ※14芯ケーブルには2種類あります。
- ・WU-Q55へ接続するケーブル→14P-16Pケーブル
 - ・それ以外のケーブル→14P-14Pケーブル

定格・付属品

■定格

電 源：DC24V
消 費 電 流：最大260mA
スピーカ1回線
あたりの最大W数：200W
合 計 最 大 W 数：960W(工事部品追加により、1920Wまで可能)
スピーカ回線制御：10系統＋一斉
リ モ コ ン 制 御：10系統

スピーカ入力回線数：10回線
電力増幅ユニット
入力系統：2系統
電力増幅ユニット
1系統当りの最大W数：480W
寸 法：480(幅)×44(高さ)×250(奥行)mm
1 U
質 量：約2.8kg
仕 上 げ：パネル：AVアイボリー塗装鋼板
(マンセル7.9Y6.8/0.8近似色)

■付属品

14芯(14P-14P)接続ケーブル……………	2	スピーカ回線名称表示ラベル……………	1
14芯(14P-16P)接続ケーブル……………	1	ケーブル表示ラベル……………	2
ラック取付用リブ付ねじ (M5×12)……………	2	ダイオード……………	2

保証とアフターサービス

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

●修理は、サービス会社・販売会社の「修理相談窓口」へ！

■保証書(別添付)

必ず、お買い上げの販売店からお買い上げ日・販売店名などの記入をお確かめのうえ受け取り、よくお読みのと、大切に保管してください。

保証期間：お買い上げ日から1年間

■修理を依頼される時

まず電源を切ってから、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は

保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる商品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

便利メモ おぼえのため 記入されると 便利です	お買い上げ日	年	月	日	品番	WU-R35
	販売店名	電話 ()	—			

パナソニック システムネットワークス株式会社

〒153-8687 東京都目黒区下目黒二丁目3番8号 電話 フリーダイヤル 0120-878-410